

教育的ニーズの 把握の仕方

Special Needs Education

情緒障がい編



New!!!

令和3年6月文部科学省初等中等教育局特別支援教育課から出された最新の「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」等を参考に作成!!

情緒障がいのある子供の教育的ニーズ ～教育的ニーズを整理するための観点～

① 情緒障がいの状態等の把握

医学的側面	<p>【障がいに関する基礎的な情報の把握】</p> <p>ア 既往・生育歴 イ 幼児期の発達状況 ウ 行動問題の状態</p> <p>エ 併存している障がい等の有無 エ 身体症状の有無 オ 服薬治療の有無</p> <p><u>*各地域の支援ファイルの情報を活用しましょう。</u></p>			
心理学的・教育的側面	<p>発達の状態等に関すること ●は教育相談の視点</p>			
	生活リズムの形成	●睡眠や覚醒（不眠、不規則な睡眠習慣など）、活動・休息、食事、排せつ等のリズムについて		
	身の自立の程度	●食事、排せつ、衣服の着脱等についての手順や方法を身に付けているかについて		
	集団参加の状況	●個別に関わるなどに配慮によって参加できるか、他の子どもの活動を模倣することで参加できるかなどの参加の状況について		
	<p>本人の障がいの状態等に関すること 【行動の様子を参考に教育相談をしてみましょう。】</p>			
	状態	R 年	R 年	行動の様子
	学習意欲や学習に対する取組の姿勢	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	学習の態度（着席行動、傾聴態度）が身に付いているか。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	学習や課題に対して主体的に取り組む態度が見られるか。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	学習や課題に対する理解力や集中力があるか。
		【特記事項のみ記述】		
	障がいによる学習上又は生活上の困難を改善するために、工夫し、自分の可能性を生かす能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	情緒の安定をさせるための支援や配慮を理解しているか。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	人と関わる際の緊張や不安を軽減するための支援や方法を理解し、活用しようとしているか。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	困ったときに教師や友達に自分から支援を求めることができるか。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コミュニケーションの際に、支援機器等を有効活用しようとしているか。
	【特記事項のみ記述】			
学習の状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	年齢相応の態度や姿勢で学習活動に参加できるか。	
	【特記事項のみ記述】			
意思の伝達の状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自分の意思を的確に相手に伝えようとしているか。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自分の意思を伝えるためのコミュニケーションの手段をもっているか。	
	【特記事項のみ記述】			
自己理解の状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自分の得意なことや苦手なことについて認識をもっているか。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自分のできないことに関して悩みをもっているか。	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自分のできないことに関して、教師や友達に援助を求めることができるか。	

心理学的・教育的側面		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保護者と障がいについて話し合ったり、相談したりして理解しようとしているか。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自分の障がいに気付き、どの程度障がいを受け止めているか。	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	障がいを正しく認識し、改善・克服しようとする意欲をもっているか。	
		【特記事項のみ記述】			
	諸検査等の実施				
	検査の結果	【検査名・検査結果*行動観察での特記事項】			
認定こども園・幼稚園・保育所、児童発達支援施設等からの情報の把握					
集団生活に向けた情報	・集団生活を送る上で、把握しておきたい、友達の関わりや興味・関心等 【特記事項のみ記述】				
学習の習得状況	●現在、学んでいる内容の学年				

② 情緒障がいのある子供に対する特別な指導内容 *特に必要な指導の項目にチェック

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
<input type="checkbox"/> 生活のリズムや生活習慣 <input type="checkbox"/> 病気の理解と生活管理 <input type="checkbox"/> 身体の状態の理解と養護 <input type="checkbox"/> 障がいの特性の理解と生活環境の調整 <input type="checkbox"/> 健康状態の維持・改善	<input type="checkbox"/> 情緒の安定 <input type="checkbox"/> 状況の理解と変化への対応 <input type="checkbox"/> 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	<input type="checkbox"/> 他者とのかかわりの基礎 <input type="checkbox"/> 他者の意図や感情の理解 <input type="checkbox"/> 自己の理解と行動の調整 <input type="checkbox"/> 集団への参加の基礎	<input type="checkbox"/> 保有する感覚の活用 <input type="checkbox"/> 感覚や認知の特性についての理解と対応 <input type="checkbox"/> 感覚の補助及び代行手段の活用 <input type="checkbox"/> 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握と状況に応じた行動 <input type="checkbox"/> 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	<input type="checkbox"/> 姿勢と運動・動作の基本的技能 <input type="checkbox"/> 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 <input type="checkbox"/> 日常生活に必要な基本動作 <input type="checkbox"/> 身体の移動能力 <input type="checkbox"/> 作業に必要な動作と円滑な遂行	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの基礎的能力 <input type="checkbox"/> 言語の受容と表出 <input type="checkbox"/> 言語の形成と活用 <input type="checkbox"/> コミュニケーション手段の選択と活用 <input type="checkbox"/> 状況に応じたコミュニケーション

③ 合理的配慮を含む必要な支援の内容については、次ページ参照

【学校や学びの場について】 *地域における教育の体制整備

設置者の受け入れ体制	小・中学校の状況	
本人・保護者の希望	希望する学校、教育の場	
	希望する通学方法	

③情緒障がいのある子供の教育における 合理的配慮を含む必要な支援の内容

	項目	合理的配慮を含む必要な支援の内容の視点 *必要項目にはチェックしましょう。	他の必要な支援
教育内容・方法	①学習や生活	<input type="checkbox"/> 社会適応に必要な技術や態度が身に付くよう指導内容を工夫する。	
	②学習内容 (変更・調整)	<input type="checkbox"/> 心理面での不安定さから学習の積み上げが難しかったり、治療等により学習の空白期間が生じたりする場合もあることから、学習内容の定着に配慮する。	
	③情報 コミュニケーション教材(補助具等)	<input type="checkbox"/> 場面によっては、意図したことが言語表現できないことがあることから、緊張や不安を緩和させるように配慮する。	
	④学習機会や体験の視点から	<input type="checkbox"/> 治療等により生じる学習機会の不足等に配慮する。	
	⑤心理面・健康面	<input type="checkbox"/> カウンセリング的対応 <input type="checkbox"/> 医師の診断を踏まえた対応	
支援体制	⑥専門性のある指導体制	<input type="checkbox"/> 情緒障がいを十分に理解した専門家からの支援 <input type="checkbox"/> 特別支援学校のセンター的機能の活用 <input type="checkbox"/> 自閉症・情緒障がい特別支援学級、医療機関等の専門性を活用	
	⑦友だち、教員周囲の理解	<input type="checkbox"/> 他者からの働きかけを適切に受け止められないことがあることや言葉の理解が十分では場合があること等について、周囲の子どもや教職員、保護者への理解啓発に努める。	
	⑧災害時等の支援体制	<input type="checkbox"/> 情緒障がいのある子どもは、災害時の環境の変化に適応することが難しい場合もあるため、心理的に混乱することを想定した支援体制を整備する。	
施設設備	⑨校内環境バリアフリー	<input type="checkbox"/> 安心して自主的な移動ができるように、特別教室への導線などを分かりやすくする。	
	⑩特性等に応じた教室・設備環境	<input type="checkbox"/> 衝動的な行動によるけが等が見られることから、安全性を確保した校内環境の整備をする。 <input type="checkbox"/> 興奮が収まらない場合を想定し、クールダウン等のための場所を確保する。	
	⑪災害時等への対応に必要な施設等への配慮		

参考:「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」
(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課, 令和3年6月)

Special Needs Education

